

新産業創出支援事業補助金事業計画書

(記載例)

1 プロジェクトの名称											
【40文字以内で、プロジェクトの名称を記載してください】 〇〇〇〇に資する〇〇〇〇向け〇〇〇〇（サービス・製品の名称）創出プロジェクト											
2 事業区分											
【次のうち、最も合致するものを1つ選択してください】											
<input checked="" type="checkbox"/> 健康寿命の延伸や地域包括ケアシステムの構築に資する新たなヘルスケアサービスや製品を創出する取組											
<input type="checkbox"/> 既存の事業分野と、新たな技術や異なる事業分野とのかけ合わせにより、分野での新たなサービスや製品を創出する取組											
3 大学や他の会員等との連携の有無											
<input checked="" type="checkbox"/> 大学、短期大学、高等専門学校、公設試験研究機関、独立行政法人又は国立研究開発法人のいずれかと連携する											
<input type="checkbox"/> 他の会員と連携する											
<input type="checkbox"/> 特に、上記との連携はしない											
【大学、短期大学、高等専門学校、公設試験研究機関、独立行政法人、国立研究開発法人又は他の会員（以下「大学等連携先」という。）と連携する場合は、その名称及び担当者を記載してください】											
<table border="1"><tr><td colspan="2">大学等連携先の名称</td><td>〇〇〇〇大学</td></tr><tr><td rowspan="3">担当者</td><td>所属学部又は所属部署</td><td>〇〇〇〇学部</td></tr><tr><td>役職</td><td>准教授</td></tr><tr><td>氏名</td><td>〇〇 〇〇氏</td></tr></table>		大学等連携先の名称		〇〇〇〇大学	担当者	所属学部又は所属部署	〇〇〇〇学部	役職	准教授	氏名	〇〇 〇〇氏
大学等連携先の名称		〇〇〇〇大学									
担当者	所属学部又は所属部署	〇〇〇〇学部									
	役職	准教授									
	氏名	〇〇 〇〇氏									
4 プロジェクトの概要											
【300文字程度（7行程度）で、顧客が抱えているどのような課題を解決するため（顧客のどのようなニーズに対応するため）に、どのような「便益」を提供する新たなビジネスを創出しようとしているかを記載してください】											
5 ビジネスプラン											
(1) 想定顧客											
【想定している顧客を記載してください】											

〇〇〇〇に、〇〇〇〇レベルの〇〇〇〇が利用する〇〇人規模の〇〇〇〇施設を複数運営している法人で、〇〇〇〇の満足度やQOL向上を図るために、〇〇〇〇を対象に、定期的に、〇〇〇〇を提供したいと考えている法人

(2) 顧客ニーズ

【顧客が抱えている課題や困りごと（ニーズやペイン（痛み））を記載してください】

- ・〇〇〇〇の満足度やQOL向上を図るために、〇〇〇〇を対象に、〇〇〇〇を提供したいが、人手不足、ノウハウ、資格がないため、満足度の高いサービスを持続的に提供することができない
- ・〇〇〇〇に関する情報が少なく、〇〇〇〇を提供するには、〇〇〇〇や〇〇〇〇の面で懸念がある。

(3) 既存の代替策（代替して使っている製品やサービス）

【顧客が抱えている課題や困りごとに対し、現在、どのような代替策があるのか、また、その欠点は何なのかを記載してください】

①現在の代替策

- ・〇〇〇〇の負担により、〇〇〇〇から実費のみを徴収し、〇〇〇〇の頻度で実施している。
- ・既存のサービスとして〇〇〇〇がある。

②上記①の欠点

- ・〇〇〇〇の負担では、人手不足のため、〇〇〇〇の頻度でしか実施できず、定期的な開催を希望する〇〇〇〇からの要望に答えられていない。
- ・既存のサービスは、コストが高く、〇〇〇〇が十分にできないため、〇〇〇〇や〇〇〇〇の面が心配。

【既存の競合先が提供している代替策（製品やサービス）を2つ程度記載してください】

①株式会社〇〇〇〇が提供する△△（サービス・製品の名称）

（△△に関するホームページ：<https://www.〇〇〇〇.jp>）

②有限会社〇〇〇〇が提供する△△（サービス・製品の名称）

（△△に関するホームページ：<https://www.〇〇〇〇.jp>）

(4) 提供価値／製品やサービス

【顧客へ提供する便益（ベネフィット）と、製品やサービスの内容を記載してください】

①ベネフィット

- ・〇〇〇〇から〇〇〇〇までを一貫して、〇〇〇〇が引き受けて実施するので、〇〇〇〇の負担や〇〇〇〇の心配がない。
- ・〇〇〇〇から〇〇〇〇までを〇〇〇〇化することで、安価に提供できる。
- ・〇〇〇〇を多品種準備することで、〇〇〇〇に応じた〇〇〇〇を提供できる。

- ・〇〇〇〇終了後は、〇〇〇〇を行うことで、〇〇〇〇の満足度やQOL向上が図られる。

②製品やサービスの内容

- ・〇〇〇〇の〇〇〇〇に対し、〇〇〇〇サービスを提供する。

(5) 収益モデル

【どのような売上・コストが発生することを想定しているかを記載してください】

①売上

- ・〇〇〇〇からの〇〇〇〇サービスの代金
- ・〇〇〇〇からの〇〇〇〇料金

②コスト

- ・〇〇〇〇サービスに関する〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇の人件費
- ・〇〇〇〇サービス時の〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇料金
- ・ホームページの運用費
- ・〇〇〇〇への紹介料

(6) 関連する市場・社会の動き

【当該ビジネスに関連する市場の成長見通しや、社会の動き・トレンドがどうなっているかを記載してください】

- ・〇〇〇〇の〇〇〇〇の人口は、〇〇〇〇時点で〇〇〇〇になるなど、今後、〇〇年間は増加し続ける（出典：〇〇〇〇省「〇〇〇〇統計」）

グラフなど

- ・〇〇〇〇によると、〇〇〇〇のマーケットは、〇〇〇〇時点で〇〇%の成長が見込まれており、市場規模は〇〇〇〇円から〇〇〇〇円へ成長すると予測されている（出典：〇〇〇〇省〇〇〇〇ワーキンググループ「〇〇〇〇年第〇回〇〇〇〇」配布資料）

グラフなど

- ・〇〇〇〇の政策として、〇〇〇〇に代表されるように、〇〇〇〇が推進されており、〇〇〇〇に対するアンケートからも見られるように、〇〇〇〇に対する〇〇〇〇は、〇〇〇〇と比べ、〇〇〇〇となっている（出典：〇〇〇〇省「〇〇〇〇統計」）

グラフなど

(7) 主要なパートナー

【当該ビジネスを実施するために必要なパートナーを記載してください】

〇〇〇〇（〇〇〇〇の面）、〇〇〇〇（〇〇〇〇の面）、〇〇〇〇（〇〇〇〇の面）、
〇〇〇〇（〇〇〇〇の面）、〇〇〇〇（〇〇〇〇の面）

(8) 活用できる自社の経営資源

【当該ビジネスを実施するために活用できる自社の主な経営資源を記載してください】

〇〇〇〇の資格、前職（株式会社〇〇〇〇）時代に〇〇〇〇の経験（〇〇年）がある社員、
〇〇〇〇（〇〇〇〇の面）や〇〇〇〇（〇〇〇〇の面）に関するネットワーク

(9) 顧客との関係／流通チャネル

【顧客に、どうやって接触し、どうやって製品やサービスを知ってもらい、どうやって製品・サービスを届けるかを記載してください】

〇〇〇〇への直接営業、ホームページへの掲載（SEO対策を含む）、
〇〇〇〇を対象とした〇〇〇〇セミナーの開催

6 業績

(1) 自社全体の業績

【直近3か年の業績について、決算資料を基に記載してください】

（単位：千円）

		令和〇年	令和〇年	令和〇年
売上高		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	売上原価	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
売上総利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	販売費等 (人件費含む)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
営業利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	営業外収益	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	営業外費用	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
経常利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

(2) 当該ビジネスの業績目標

【補助事業終了後における、当該ビジネスの業績目標を記載してください】

(単位：千円)

		令和〇年 (終了1年後)	令和〇年 (終了2年後)	令和〇年 (終了3年後)
売上高		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	売上原価	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
売上総利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	販売費等 (人件費含む)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
営業利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

(3) 主要業績評価指標 (K P I)

【上記「(2) 当該ビジネスの業績目標」の達成度を評価するためのK P Iを3つ程度記載してください(例：提携事業者数、販売店舗数、会員数など)】

K P I	令和〇年 (終了1年後)	令和〇年 (終了2年後)	令和〇年 (終了3年後)
〇〇〇〇 (単位：施設)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇〇〇 (単位：施設)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇〇〇 (単位：回)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

7 関連産業の活性化や雇用の創出など、本市産業等への波及効果

【関連産業の活性化や雇用の創出など、本市産業にどのような波及効果が生じるのか、また、

本市の地域社会にどのようなメリットを与えるのかを記載してください】

8 実施計画

(1) 取組スケジュールや取組内容

①本年度（1年目）

実施時期	取組内容
令和〇.7～10	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.8～12	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.10～令和〇.3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.10～令和〇.3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.12～令和〇.3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.1～3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.2～3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

②次年度（2年目）

実施時期	取組内容
令和〇.4～令和〇.3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.5～令和〇.8	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.7～令和〇.3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.8～10	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.9～12	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.1～3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和〇.2～3	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(2) 自社の取組体制

【自社の取組体制を記載してください】

従事者の職名	人数	業務内容
〇〇〇〇課長	1	〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇課 主任	2	〇〇〇〇〇〇〇〇

(3) 外部協力者の取組体制

【上記「3 大学や他の会員等との連携の有無」で記載した連携先など、外部の協力者を記載してください】

外部協力者の名称	業務内容
〇〇〇〇大学	〇〇〇〇に関する共同研究
〇〇〇〇	モニターサービスの利用者集客

9 知的財産権への対応

【知的財産権への対応予定を記載してください】

保護対策の予定	■あり □なし
「あり」の場合は、 その具体的な方法（注）	商標登録

注）産業財産権に関する特許庁への出願や、秘密保持契約の締結など

10 関連するノウハウや技術等

【当該ビジネスに関連するノウハウや技術、産業財産権、事業実績など、アピールしたいことがありましたら、記載してください】

- ・当社はこれまで〇〇〇〇に関するビジネスを実施してきており、〇〇〇〇との豊富なネットワークがあり、〇〇〇〇へのインタビューにより、〇〇〇〇が抱えている困りごとに関する理解度を深めている。
- ・今回、前職（株式会社〇〇〇〇）時代に〇〇〇〇の経験（〇〇年）がある社員を加え、〇〇〇〇のサービスが提供できる体制が確保できた。
- ・〇〇〇〇に対する〇〇〇〇サービスは、〇〇〇〇においても、その効果が評価されており、〇〇〇〇の〇〇〇〇を向上させるほか、〇〇〇〇の付加価値向上にも資するものと考えられる。
- ・現時点では、〇〇〇〇のサービスは十分には普及しておらず、また、〇〇〇〇の面でハードルがあるが、〇〇〇〇や〇〇〇〇等を工夫することで、マネタイズできるビジネスモデルを構築していきたい。

11 収支予算書（単位：千円）

【支出額と収入額が同一となるように記載してください】

支出区分（注）		金額	収入区分		金額	調達先	
支出	旅費		収入	補助金	2,500		
	会議費			金	その他		
	研修費			借入金	金融機関		
	謝金	500		金	その他		

	備品費		自己資金	1,850				
	借料		その他					
	消耗品・原材料費							
	外注費							
	委託費	800						
	共同研究費	800						
	印刷製本費	500						
	技術導入費							
	知的財産権等 関連経費	50						
	運送費							
	広告宣伝費	500						
	直接人件費	1,200						
	合計①	4,350				合計	4,350	
	①のうち大学等連携 先に支払う経費	800						

(注) 鹿児島市新産業創出支援事業補助金交付要領別表を参照してください。